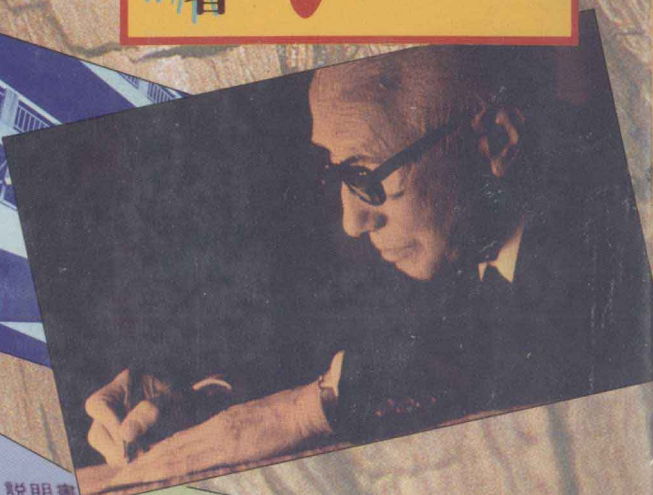
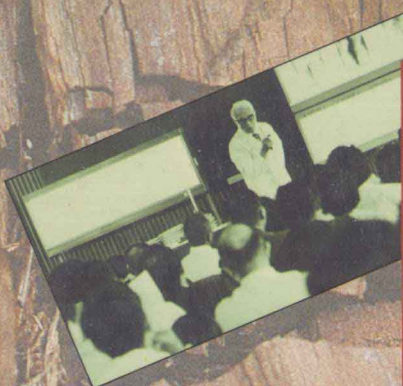


丸山ワクチンの

熱き闘い

小池亮三著



SSM (A) (B) 説明書

治療用

S. S. M. (B)

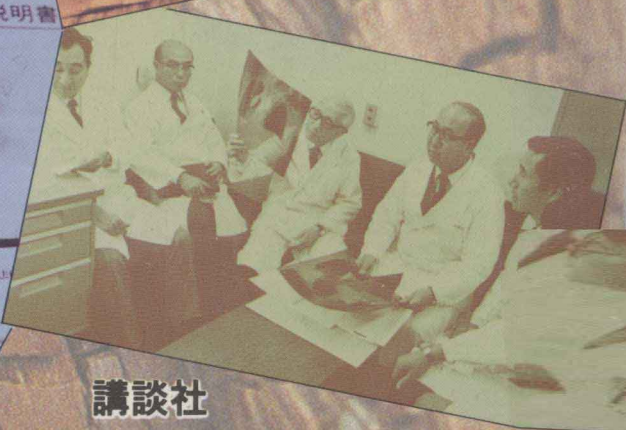
〈皮下注〉

1ml×10Amp

基幹山崎施設：日本医科大学附属病院ササキン薬土
東京都中央区千代木1-1

小池伊藤重工業株式会社
東京都中央区日本橋小町1-1-1

S. S. M

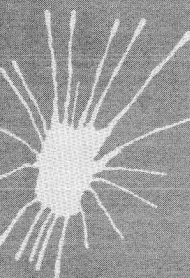
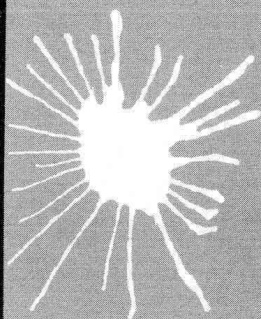


講談社

丸山ワクチンの

熱き闘い

小池亮三著



講談社

丸山ワクチンの熱き闘い

昭和五十八年十二月二十五日 第一刷発行

著者 小池亮一

© 1983 RYOICHI KOIKE Printed in Japan



発行者 鈴木茂次

発行所 株式会社講談社

〒東京都文京区音羽一三一二 TEL 東京三一九四一二二(大代表)

振替東京八二三九三〇

印刷所 慶昌堂印刷株式会社

製本所 株式会社堅省堂

定価 九百八十円

落丁本・乱丁本は小社書籍製作部までお送り下さい。
送料小社負担にて取り替えさせていただきます。

はじめに

このルポは、せっぱつまった、自分自身の問題として書いた。

丸山千里博士に、初めてお会いし、丸山ワクチンの紹介記事を月刊誌に書いたのは、昭和五十一年である。それ以来、博士のお人柄に惹かれて、日本医大のワクチン研究施設へ、満七年間、かよってきた。

その間に、ずいぶん沢山の、ガン患者、およびその家族の方々にお会いした。そしてもつともショックを感じたのは、自分と同年齢、あるいはそれ以下の若年層に拡がりつつある、ガンの猛威であった。

「四十代の自分が、いまこうして、生きていることは、偶然の幸運なのだ。いつガンが発生しても、ふしぎはない環境であり、年齢だ」

と、明けても暮れても考えつづけた。

ところが、日本は、まだまだ少ない方で、アメリカ、カナダを取材旅行してみても、恐れおののいたのは、「エブリ・アザー・ピープル・ハズ・キャンサー」（年輩者の二人に一人はガンを体内にも

つ」という現状であった。

あらゆることに欧米の影響をうける日本は、ごく近年のうちに、有数の「ガン大国」になるであろう。

五十七年秋に、講談社の伊藤寿男取締役と、鈴木俊男「週刊現代」編集長（現・スポーツ出版部長）より、執筆のお勧めをうけ、私は、丸山ワクチンを実際に使っている、数十人のガン闘病者と、積極的に投与している数十人の医師たちに会って話をうかがい、五十八年一月から「週刊現代」誌上に執筆をはじめ、六ヵ月間にわたり連載をつづけた。

毎号、執筆をつづけているうちに、わいてきたのは、

「もし自分がガンになっても、これさえ射ちつづければ、死刑囚ではなく、無期徒刑として、生きのびられるのではないか」

との希望であった。お会いした患者の多くは、ガン腫を身体の内にかかえながら、元気に十年も十五年も、延命しているのである。

丸山ワクチンには、ガン細胞に対する、直接の破壊力はない。と同時に、正常細胞への殺傷力もない。それゆえに、ガン腫を全滅させないまでも、上手に生け捕りにし、生体と共存させうという、ふしぎな効力を有していることが、さまざまな形で判明している。

絶対万能の靈藥などという扱いをするのは、丸山ワクチンのために、良いことではない。はつき

りいえるのは、

「副作用がなく、生体を破壊損傷せず、人体修復機能を喚起して、相当の制ガン効果をあげる、結核菌体抽出物質」

だということだ。効いた人が、百人に十人、いや五人であろうとも、ガンの薬としては、画期的な存在である。

しかし、正式認可の見通しは、まだ立っていない。治験薬として、ガン患者への適用は許されているけれども、これは、いわば、「行政当局のおなさけ」であり、何かの風の吹き加減で、「治験薬としての認定取り消し」にならぬという保証は一つもないのだ。

丸山ワクチンが正式認可になるためには、まだいくつもの困難な山坂が控えている。しかし、言にくいことを言わせていただくが、認可をはばんでいる要因の一つは、

「丸山ワクチンに対する、国民の認識不足」

だと思う。一日も早く認可をとり、患者にはもちろん、まだ臨床的ガンが発生していない人も、予防のために（この場合は、健保の適用がきかないので、有料であるが）自由に丸山ワクチンを射ることが、国民的コンセンサスにならない限り、正式認可への道は遠いと思わねばならない。

それほどにも、正式認可をはばむ医事薬事の壁は厚いことを、認識せねばならない。

認可薬品でないということは、この執筆上にも、さまざまな障害をもたらした。一例をあげれ

ば、卵巣ガンと、肝転移がありながら、丸山ワクチンの単独使用で、満九年も延命している女性患者などがそうである。

この人の話を書きたいのは山々ながら、もし公表されると、彼女の入院中の病院も、医局も、すべてトラブルにまきこまれるというのだ。つまり、「人目に隠れて、生きつづけている」わけである。未認可薬にはこの他にも、障害がいっぱいある。早くこの問題を解決したい。

丸山千里博士、藤田敬四郎博士のお二方には、取材、執筆の上で、さまざまなご協力を頂いた。また、患者家族の会代表の、篠原一氏、生天目昭一氏、同会事務局長の南木雅子さんからも、お世話になった。

そのほか、沢山の医師と患者家族の方々からのご協力への感謝は言葉につくせない。

なお、ご登場の方々には、ルポルタージュの性格上、文中での敬称を略させて頂いたが、おゆるし頂きたい。

最後に、単行本化するにあたり、お力を貸して頂いた講談社の、田中吉昭氏、鈴木一守氏、およびフリーライターの服部哲氏にお礼を申しあげる。

昭和五十八年十一月上旬

小池 亮一

丸山ワクチンの熱き闘い 目次

はじめに.....1

第一章 ガン免疫療法創始者の栄光と苦闘.....13

患者から慕われる日本で一番有名な医者・丸山千里 15

実績と正論ゆえに対応に困惑する日本医大 21

丸山に生きる力を与えるガン患者たち 26

着実にふえ続ける丸山ワクチン信奉者 31

第二章 丸山博士を支える献身のボランティア群像.....35

ナイナイ尽くしのなかの混成医師団 37

延命効果を実証し、ガン予防に燃える女医 40

共通する悩みは抗ガン剤併用の是非 47

心強いボランティア医の積極的医療活動 50

患者家族の心の支え、女性ボランティア 54

第三章 奇跡的に死の淵よりよみがえった青年時代……………61

兄姉の庇護のもと死病も克服、日本医大を卒業 63

安部磯雄の末娘、夏と結婚 67

学位も得、医長就任でやっと人並みの生活 73

第四章 見捨てられたものを救う丸山皮膚科医局……………79

東大閥医療権力に立ち向かった丸山の胸中 81

「皮膚病の難症は日本医大に限る」と評判 87

新薬出現にも「結核菌は天の贈物」と信念貫く 93

第五章 早大合併騒動に死力を尽くし敗れる……………99

合併に走らせた劇的な運命と宿命的背景 101

是非論二分するなか寝食を忘れて奔走 105

占領軍、母校の強者を敵にし、望みたたるる 110

専制者河野の苛酷な処遇とダメージ 114

第六章 人間最大の悲劇「ガン」克服の野望……………119

ガン治療薬としての登場を早めた伊藤との出会い 121

河合ファミリーを喜びで包んだ丸山ワクチン 126

河合良成に押し切られ、初の記者会見 130

企業化構想を頑としてこばみ通す 134

第七章 明るい天使たち——丸山ワクチン闘病者訪問記……………139

生きることの幸せに浸る篠原東大教授 141

丸山ワクチンの市民権獲得にかける努力と勇気 144

「立派なガンですよ」と笑いとはして張り切る 149

夫婦そろってガンを克服、旅行もすれば徹夜も辞さず 152

明るさ振りまく六十五歳の長期生存者 158

死と同居の中学時代が信じられない二十一歳の青春 161

「早く切れば一件落着だった」生天目さんの皮膚ガン 168

丸山ワクチン一本槍が功奏し、充実の日々 173

第八章 効果に驚く丸山ワクチン治験医たちの報告…………… 177

ベーチェット病から三期腺ガンまでも治す 179

最末期の上顎ガンに劇的效果を発揮 183

余命一カ月のガン性腹膜炎患者もいまでは快適人生 186

脾臓ガンの吻合手術後、みごとに回復 190

相づく延命、和痛、治癒効果 194

心療の活用で高まる闘病効果 197

第九章 おひざ元日本医大も丸山ワクチン支持に傾く…………… 203

切実な効果体験の前に拒絶反応もついえ去る 205

日本医大でも効果みせつけた丸山ワクチン 209

十三年も延命し、体調良好の腎臓ガン患者 213

待たれるB型肝炎治療の研究成果 216

第十章 全地球が求める丸山ワクチン…………… 219

増加する一方の外国からの需要 221

きびしい米国で「物質特許」も取得 223

エリス夫妻を絶望から救った生への執着 226

全身がガン病巣のパトリシア夫人が奇跡の延命 233

「二人に一人」の深刻な問題かかえるカナダ 236

第十一章 キャンサー・エスタブリッシュメントの壁はいつ破れるか…… 241

中央薬事審と徹底抗戦を構える佐藤博 243

木本哲夫の「ガン細胞閉じこめ効果」の証明で更に前進 247

「エスタブリッシュメントのすべてが反対ということはない」 251

認可はばむ阪大総長・山村との「宿命の対決」 254

「すべてを一人きりで」を信条に無毒化に成功 259

丸山ワクチン認可でガン闘病者に光明を 262

丸山ワクチンを投与する全国病院一覧表…………… 265

カ
ー
・
装
幀
／
甲
田
勝
彦
本
文
写
真
／
野
上
透
望
月
誠

丸山ワクチンの熱き闘い

第一章

ガン免疫療法創始者の栄光と苦闘



左より藤田博士，丸山博士，メニューヒン

